

2024年1月16日  
SCSK株式会社

---

## ほくほくフィナンシャルグループの取引先企業向けに パーセフォニ社プラットフォームを用いた GHG 排出量算定支援の検証サポートを開始

---

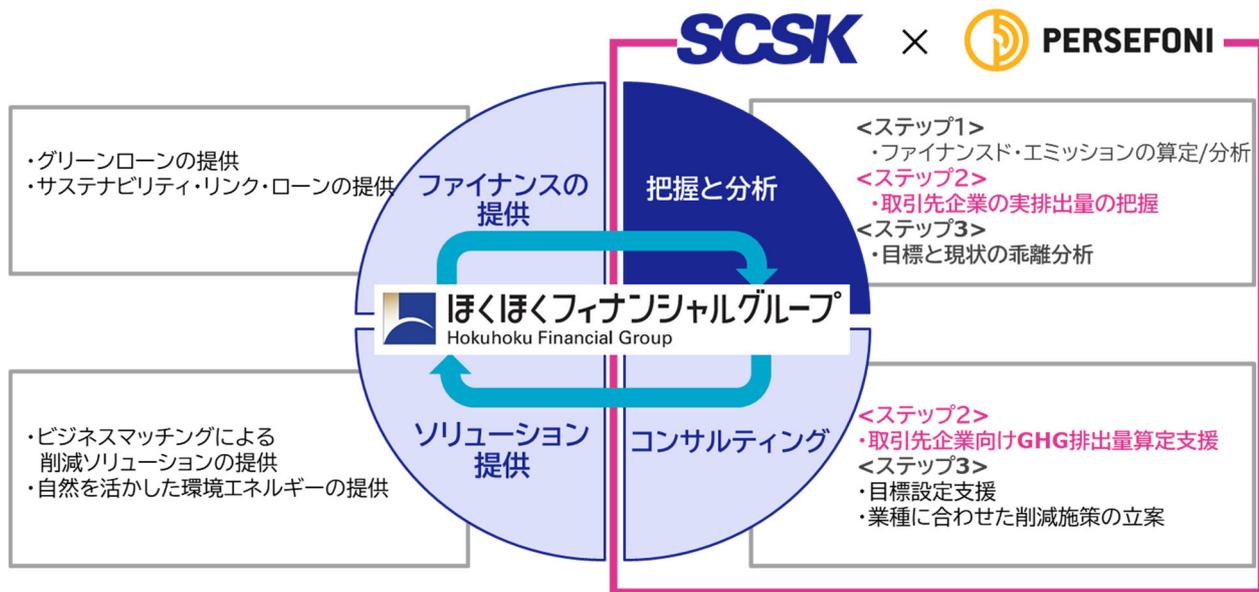
SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、株式会社ほくほくフィナンシャルグループ(本社:富山県富山市、取締役社長:中澤 宏、以下 ほくほく FG)が地域脱炭素化を推進するにあたり、2023年10月からパーセフォニ社(本社:米国アリゾナ州テンピ)が提供する「気候管理・炭素会計プラットフォーム(CMAP)」を活用した GHG 排出量算定支援および実排出量データの取得実現に向けた検証サポートを開始しました。

SCSK は 2023 年 4 月から、ほくほくFGに CMAP を提供し、ファイナンスド・エミッション(投融资に関わる排出量)の算定・分析支援を実施しており、今回はその次のステップとして取引先企業のエンゲージメント推進に向けた取り組みとなります。

### 1. 検証の概要

ほくほくFGは、透明性および網羅性のあるファイナンスド・エミッション算定／分析の実現、また質の高いエンゲージメント実現のため、2023年4月にPCAF<sup>※1</sup>に準拠した算定が可能な国内唯一のPCAF認定ソリューション「CMAP」を導入<sup>※2</sup>しました。ステップ1として、CMAPを活用し、PCAF準拠によるファイナンスド・エミッション算定の自動化を実現、セクターごとや取引先企業ごとの排出量分析を実施しました。

ステップ2となる今回の取り組みは、CMAPを活用した取引先企業のGHG排出量算定支援および実排出量データの入手を検証するものとなります。地域金融機関として取引先企業の実排出量データを把握し、精緻な排出量データを元にした質の高いエンゲージメントを実現することで地域脱炭素化を促進することを目的としています。



SCSK は、パーセフォニ社の国内初の代理店としての知見を活かし、エンゲージメント推進の土台となる「ファイナンスド・エミッションの算定／分析」において、CMAP の初期セットアップ支援およびハンズオントレーニング、データ入力支援を実施し、早期運用立ち上げに貢献しました。今回のステップ2においても、取引先企業が CMAP を活用した自社の GHG 排出量 (Scope1,2) を簡単に算定できるよう、SCSK は CMAP の定期的なハンズオントレーニングの実施および活用を進めるうえでの技術支援を提供します。

また、SCSK およびほくほく FG は共同で、取引先企業が算定した実排出量データを CMAP 上で自動的にデータ収集し、ファイナンスド・エミッションの品質向上と排出量削減に向けて、より質の高いエンゲージメントの取り組みの実証検証も行います。

※1:金融向け炭素会計パートナーシップ (Partnership for Carbon Accounting Financials)。金融機関が投融資を通じて資金提供した先の温室効果ガスの排出を整合的に算定するための枠組。TCFD はファイナンスド・エミッションの算定手法として PCAF を推奨。

※2: <https://www.scsk.jp/news/2023/pdf/20230324.pdf>

### 3. 今後の展開

SCSK とほくほく FG は、ステップ3において、CMAP のネットゼロナビゲーター<sup>※3</sup> 機能を活用した取引先企業への脱炭素コンサルティング促進について実証検証していく予定です。これによりほくほく FG は地域金融機関として、より多くの取引先企業の脱炭素化へ向けた具体的な取り組みを支援することが可能となり、その先のソリューション提供、サステナブルファイナンスの提供へと繋げていく予定です。

また SCSK は、今後 SIER としてのシステム開発力を生かし、GHG 排出量算定からカーボンニュートラルに向けた一連の取り組みを管理できるプラットフォームの提供し、社会課題の解決に貢献していきます。

※3:過去の温室効果ガス排出傾向をもとに、削減目標の設定や削減方法に関するアドバイスを提示する機能。大手コンサルティングファームである、Bain & Company とパーセフォニ社で共同開発した機能。

## ほくほくフィナンシャルグループについて

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループは、北陸銀行・北海道銀行などを傘下に持つ持ち株会社であり、国内有数の地方銀行グループです。東京証券取引所(プライム市場)、札幌証券取引所に上場しています。傘下の北陸銀行は1877年創業、本店は富山市。国内外に194の拠点、従業員数は2,167名(2023年3月末現在)。北海道銀行は1951年設立、本店は札幌市。国内外に146拠点を有し(2023年6月末現在)、従業員数は1,981名(2023年3月末現在)。

URL: <https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

## パーセフォニについて

パーセフォニは、気候変動管理・炭素会計プラットフォーム(CMAP)のリーディングカンパニーです。企業や金融機関は、国際的な炭素会計基準であるPCAFやGHGプロトコルに対応する当社のSaaS型ソリューションを利用することにより、国内外のステークホルダーや規制当局が求める気候変動に関する情報開示業務を、高い信頼性、透明性、利便性をもって行うことができます。パーセフォニのプラットフォームは、「炭素分野のERP(経営資源を統合的に管理し、経営の効率化を図る手法)」であり、スコープ1から3までの(自社や国内外のサプライチェーン全体での)炭素管理の一元化を実現し、企業は従来の経理業務と同様の厳密さと信頼性をもって、炭素会計・管理業務を進めることができます。

URL: <https://www.persefoni.com/>

## SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「地球環境への貢献」に資するものです。

- －温室効果ガス排出量の算出・管理による、情報開示の高度化
- －情報開示の高度化推進により、脱炭素社会への変革をサポート
- ・SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定

[https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428\\_2.html](https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428_2.html)

## 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

プロダクトサービス事業グループ

ITインフラ・ソフトウェア事業本部 エンタープライズ営業部 高梨

TEL:03-5859-3780

E-mail: [persefoni-sales@scsk.jp](mailto:persefoni-sales@scsk.jp)

Persefoni 製品サイト: <https://www.scsk.jp/sp/persefoni/>

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部

広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169